2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ：　盆子原　秀三　（ボンコハラ　シュウゾウ）

(2)職　　名 ：　教授　理学療法学科長

(3)学　　位 ：　博士（保健医療学）　学士（教養）

(4)資　　格 ：　理学療法士

(5)担当科目 ：　運動学Ⅰ　人間関係実践演習Ⅲ　臨床運動学実習　理学療法治療学演習　理学療法特講Ⅱ　早期臨床体験見学実習（1 年次）　見学実習（2・3 年次）　評価実習（3 年次）　臨床教育実習Ⅱ前期（4 年次）　臨床教育実習Ⅱ後期（4 年次）

(6)研究テーマ

① OGA（Observational Gait Analysis：観察による歩行分析）
② MIX 法（mixed methods)による行動分析
③ 骨粗鬆症の運動療法
④ 産業保健に関する取り組み（移乗介助ロボット）

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 臨床歩行分析研究会
③ MMIRA（国際混合研究学会）・日本混合研究法学会
④ 足立区パラスポーツ推進委員(会長)

(8)研究業績等

① 論文 *The level of skills involved in an observation-based gait analysis. Journal of Eye Movement Research.*（単著）17(3), p1-10, 2024.
② 著書『印象から始める歩行分析』（共著）医学書院　2018 年 11 月
③ 著書『筋学ハンドブック』（共著）医歯薬出版 2014 年 6 月
④ 著書『関節学ハンドブック』（共著）医歯薬出版 2019 年 12 月
⑤ 訳書『観察による歩行分析』（共訳）医学書院　2005 年 6 月

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 加藤　宗規　（カトウ　ムネノリ）

(2)職　　名 ： 教授　理学療法学科副学科長

(3)学　　位 ： 博士（保健医療学）

(4)資　　格 ： 理学療法士

(5)担 当 科 目 ： 運動学実習　理学療法カウンセリング　理学療法概論
神経障害理学療法学演習　理学療法特講Ⅱ
理学療法研究法特論　卒業課題研究　見学実習
評価実習　総合臨床実習

(6)研究テーマ

① 筋力測定
② 脳卒中片麻痺
③ 応用行動分析学

(7)所属学会・団体

① 理学療法科学学会
② 日本臨床スポーツ医学会
③ 日本行動分析学会

(8)研究業績等

① 書籍『PT・OT ビジュアルテキスト神経障害理学療法学改訂第 2 版』（分担）羊土社 2024 年
② 著書『基礎理学療法学概論改訂第 2 版』（編著）メジカルビュー社 2023 年
③ 著書『最新理学療法学講座 理学療法評価学』（分担）医歯薬出版株式会社 2024 年

2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 武内　朗 （タケウチ　アキラ）

(2)職　　名 ： 教授　 学生部長・学術情報センター長

(3)学　　位 ： 修士（健康デザイン学）

(4)資　　格 ： 理学療法士

(5)担 当 科 目 ： 理学療法評価学Ⅰ　理学療法学概論　基礎運動療法学実習　理学療法特講Ⅱ
神経系障害理学療法学実習　日常生活活動学実習　見学実習　評価実習
総合臨床実習

(6)研究テーマ
①成人片麻痺患者のヘルスプロモーション
②加齢と姿勢保持のための運動

(7)所属学会・団体
①理学療法学会
②日本ヘルスプロモーション学会
③日本リハビリテーション連携学会

(8)研究業績等
①著書『理学療法士　ポケット・レビュー帳　基礎編』（共著）メジカルビュー社　2009 年 8 月
②著書『理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー帳　基礎編』（共著）メジカルビュー社　2009 年 9 月
③著書『PT スタートガイド　基礎理学療法概論』（共著） メジカルビュー社　2018 年 2 月
④著書　改訂第 2 版『PT スタートガイド　基礎理学療法概論』（共著） メジカルビュー社　2024 年 1 月

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 中 村　浩　（ナカムラ ヒロシ）

(2)職　　名 ： 教授

(3)学　　位 ： 博士（医学）

(4)資　　格 ： 理学療法士

(5)担 当 科 目 ： 運動学Ⅱ、理学療法治療学演習、理学療法特講Ⅰ、内部障害理学療法学実習、理学療法特講Ⅱ、生活環境学、医学論文（英文）、見学実習、評価実習、臨床総合実習

(6)研究テーマ

① 下肢アライメントが姿勢、歩行に及ぼす影響（足部形態、体幹動揺の評価）
② 地域高齢者の健康増進および介護予防を目的とした理学療法の介入
③ ストレスと自律神経（呼吸および心拍変動）の関係

(7)所属学会・団体

① 理学療法士協会
② 靴医学学会
③ 理学療法科学学会

(8)研究業績等

① 論文 Relationship between the medial longitudinal arch movement and the pattern of rearfoot motion during stance phase of walking. *J.Phys.Ther.Sci.*15: 2002年11月

② 論文「スマートフォンアプリケーションを使用した関節可動域測定の信頼性と妥当性の検討ー画面の大きさ(スマートフォン，タブレット端末)の違いによる比較ー」（共著）　『了徳寺大学研究紀要』第13号： 2019年3月

③ 論文「健常若年成人男性におけるチルトテーブルを用いた部分荷重スクワットの生理学的応答」（共著）『了徳寺大学研究紀要』第14号： 2020年3月

2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 山田　洋一　（ヤマダ　ヨウイチ　）

(2)職　　名 ： 教授

(3)学　　位 ： 博士（保健医療学）

(4)資　　格 ： 理学療法士　介護支援専門員
公認身体障害者スポーツ指導員　福祉住環境コーディネーター2 級

(5)担 当 科 目 ： 人間関係実践演習Ⅲ(多職種連携活動論)、発達障害理学療法学総論、 人間発達学、ケアマネジメント論(整復)、ケアマネジメント論(自立・就労支援、地域包括ケアを含む)、画像診断学、日常生活活動学実習、 理学療法評価学Ⅱ、理学療法特講Ⅱ、見学実習(通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション)、評価実習、総合臨床実習(実習前後の評価を含む)

(6)研究テーマ

① 理学療法教育・管理
② 理学療法スキル（視線特性）
③ シミュレーション教育（VR, メタバースの可能性）

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 理学療法科学学会
③ 日本ボバース研究会
④ 日本シミュレーション医療教育学会

(8)研究業績等

① 論文 「理学療法士のための臨床管理能力尺度(Clinical Management Competencies Scale for Physical Therapists:CMCS-PT)の信頼性と妥当性の検証」（共著）『理学療法科学』37(3).303-310　2022 年

② 著書 「卒前・卒後教育に使える理学療法のための OSCE ハンドブック」（共著）『アイペック』 12-22 . 2022 年 6 月

③ 論文 「脳血管障害片麻痺者疑似体験用装具の開発と歩行再現性について」（共著）『リハビリテーション教育研究』25.116-117　2019 年 3 月

2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 上岡　尚代　（カミオカ　ナオヨ）

(2)職　　名 ： 教授

(3)学　　位 ： 修士（スポーツ健康科学）

(4)資　　格 ： 理学療法士、高等学校・中学校保健体育教員免許
公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
公益財団法人健康体力づくり事業財団公認健康運動指導士
非営利活動法人日本トレーニング指導者公認上級トレーニング指導者

(5)担 当 科 目 ： 検査測定と評価　検査測定と評価演習
アスレティックトレーナーの役割　対象別スポーツ指導論
健康運動指導実習Ⅰ　リハビリテーション医学（整復）
スポーツ理論と実習Ⅰ(理学)　スポーツ理論と実習Ⅱ（理学）
予防とコンディショニング　スポーツ障害理学療法学演習
スポーツトレーニング特論　アスレティックリハビリテーションⅠ（理学）
検査測定と評価（理学）　トレーナー実習Ⅰ（見学実習）
トレーナー実習Ⅱ（スポーツ現場実習）　トレーナー実習Ⅲ（検査・測定と評価実習/アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習）
トレーナー実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）
トレーナー実習Ⅴ（総合実習）

(6)研究テーマ

① 地域高齢者に対する運動介入について

② 大学生のライフスタイルと健康

③ スポーツ選手に対する低出力レーザーを用いたコンディショニング

(7)所属学会・団体

① 日本レーザー治療学会

② 日本臨床スポーツ医学会

③ 日本アスレティックトレーニング学会

(8)研究業績等

① 著書『健康運動指導士試験　要点整理と実践問題』第1版(共著)　文光堂　2018 年2月
著書『健康運動指導士試験　要点整理と実践問題』第2版共著)　文光堂　2019年8月
著書『健康運動指導士試験　要点整理と実践問題』第3版(共著)　文光堂　2020 年 9 月
著書『健康運動指導士試験　要点整理と実践問題』第4版(共著)　文光堂　2025 年 4 月
著書『健康運動指導士試験パーフェクト予想問題集』文光堂　2025 年 5 月
著書『公益財団法人日本スポーツ協会アスレティックトレーナー専門テキスト第 5 巻 6 章』2022 年 11 月

② 論文「フェンシング選手のコンディショニングに対する 10W 半導体レーザーの効果」日本レーザー治療学会誌, 20 (2) 42-47, 2022.

論文「大学生のライフスタイルとストレス　～短時間でおこなうマインドフルネスの即時効果について～」SBC 東京医療大学研究紀要, 19, 107-117, 2025

③ トレーナー業績
2018　第 18 回アジア競技大会フェンシング日本代表チーム帯同
2019　世界選手権大会フェンシング日本代表チーム帯同
2021　東京オリンピック」フェンシング日本代表チーム帯同

2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 柊　幸伸　（ヒイラギ　ユキノブ）

(2)職　　名 ： 教授

(3)学　　位 ： 博士（保健医療学）

(4)資　　格 ： 理学療法士
介護支援専門員
宅地建物取引士

(5)担 当 科 目 ： 地域リハビリテーション概論
義肢装具学
義肢装具学実習
ケアマネジメント論
老年期障害理学療法学演習
理学療法特講1

(6)研究テーマ

① 動作分析（小型センサを用いた分析）
② 重心動揺

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 理学療法科学学会
③ 日本体力医学会
④ 臨床歩行分析研究会
⑤ NPO 法人リハビリテーション学術センター

(8)研究業績等

①【著書】
『臨床スポーツ医学』(分担翻訳) 医学映像教育センター、2009
『PT・OT ビジュアルテキスト 義肢・装具学』(分担執筆) 羊土社、2023
『PT スタートガイド 基礎理学療法概論』(分担執筆) メジカルビュー社、2024

②【論文】
『3 次元加速度計による重心動揺評価』理学療法科学 19(4)
『*Easy motion analysis using compact sensors*』*JPTS* 18(2)
『指示基底面積と重心動揺域の実測とその比較』理学療法科学 23(2)

③【海外協力】
JICA「ベトナム草の根技術協力事業」
JICA「中国中西部地区リハビリテーション人材養成プロジェクト」
JICA「ベトナム南部医療リハビリテーション強化プロジェクト」

2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 荒巻　英文　（アラマキ　ヒデフミ）

(2)職　　名 ： 准教授

(3)学　　位 ： 修士（リハビリテーション学）

(4)資　　格 ： 理学療法士

(5)担 当 科 目 ： 物理療法学総論（実習を含む） 地域リハビリテーション理学療法学
機能能力診断学実習　理学療法評価学Ⅰ　理学療法特講Ⅱ
整形外科系障害理学療法学実習　整形外科系障害理学療法学演習
理学療法学概論　見学実習　評価実習　総合臨床実習

(6)研究テーマ

① 骨格筋に関する研究
② 筋力測定に関する研究
③ 介護予防に関する研究

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 日本基礎理学療法学会
③ 日本予防理学療法学会
④ 理学療法科学学会

(8)研究業績等

① 著書『筋肉研究最前線－代謝メカニズム、栄養、老化・疾病予防、科学的トレーニング法－』（共著） エヌ・ティー・エス 2019 年 9 月

② 論文 「ヒト骨格筋の反復伸張における筋肥大及び筋力増強効果の検証」（共著）
理学療法科学学会『理学療法科学』第 30 巻 2 号 2015 年 4 月
2015 年度 理学療法科学 優秀論文賞

③ 論文 Validity and reliability of isometric muscle strength measurements of hip abduction and abduction with external hip rotation in a bent-hip position using a handheld dynamometer with a belt（共著）*J. Phys. Ther. Sci.* 28(7) 2016 年 7 月

2025 年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 平野　正広　（ヒラノ　マサヒロ）

(2)職　　名 ： 准教授

(3)学　　位 ： 博士（保健医療学）、修士（保健医療学）

(4)資　　格 ： 理学療法士

(5)担 当 科 目 ： 内部障害理学療法学実習（喀痰・吸引含む）、整形外科系理学療法学実習、運動学実習、リハビリテーション概論（栄養学、予防の基礎を含む）、人間関係実践演習Ⅰ（初年次教育）、人間関係実践演習Ⅲ（多職種連携活動論）、理学療法学概論、理学療法特講Ⅱ、見学実習（通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション）、評価実習、総合臨床実習

(6)研究テーマ

① 内部障害（主に呼吸）に関する研究
② 身体機能評価（主に筋力）に関する研究
③ 学生支援に関する研究

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 日本臨床生理学会
③ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

(8)研究業績等

① 論文 「最大口腔内圧法による呼吸筋力と身体機能との検討」（単著）国際医療福祉大学大学院博士論文 2018 年 3 月

② 論文　Validity and reliability of isometric knee extension muscle strength measurements using a belt-stabilized hand-held dynamometer: A comparison with the measurement using an isokinetic dynamometer in a sitting posture（共著） *J. Phys. Ther. Sci.* 32（2） 2020 年 2 月

③ 論文 「理学療法学科教員における精神的健康度調査導入後の学生支援への活用状況に関する調査　―学生への調査導入後の 4 年間の推移―」（共著） SBC 東京医療大学紀要　第 19 号　2025 年 3 月

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 桑井 太陽　（クワイ タイヨウ ）

(2)職　　名 ： 准教授

(3)学　　位 ： 修士（スポーツ健康科学）

(4)資　　格 ： 理学療法士、アスレティックトレーナー、鍼師・灸師・マッサージ師

(5)担 当 科 目 ： スポーツ障害理学療法学演習
整形外科系障害理学療法学
検査・測定と評価
機能能力診断学実習
アスレティックリハビリテーションⅠ
トレーナー実習Ⅰ～Ⅴ
予防とコンディショニング

(6)研究テーマ

① トップアスリートのパフォーマンス向上と、コンディショニング方法
② スポーツ障害予防とコンディショニング
③ アスレティックトレーナー養成における学生の意識と現場の実際

(7)所属学会・団体

① 日本スポーツ臨床医学会
② （公財）日本水泳連盟 医事委員会連携組織 日本水泳トレーナー会議 執行部 代表補佐

(8)研究業績等

① 論文　日本アスレティックトレーニング学会誌　第1回 第1号 1-15（2016）『水中で行う競技に用いるテーピング』2016年1月
② 論文　臨床スポーツ医学 種目特性を踏まえたテーピングテクニック 水泳・水球・ライフセービング　2008年1月
③ 著書　ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の診療　南江堂
1章種目別対処法（3水泳トレーナー編）　2014年5月
④ 著書　水泳コーチ教本（第3版）
トレーナーメディカルコンディショニング大修館書店　2014年5月
2008年 オリンピック競技大会　北京大会　競泳ナショナルチームトレーナー
2012年 オリンピック競技大会　ロンドン大会 競泳ナショナルチームトレーナー
2016年 オリンピック競技大会　リオデジャネイロ大会 競泳ナショナルチームトレーナー
2021年 オリンピック競技大会　東京大会　OWS競技ナショナルチームトレーナー
2024年 オリンピック競技大会　パリ大会 ウェイトリフティング競技ナショナルチームトレーナー

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 兎澤　良輔　（トザワ　リョウスケ）

(2)職　　名 ： 講師

(3)学　　位 ： 博士（医学）

(4)資　　格 ： 理学療法士

(5)担 当 科 目 ： 理学療法評価学Ⅱ（画像評価を含む）、整形外科系障害理学療法学演習、基礎運動療法学実習、日常生活活動学実習、運動学Ⅱ，物理療法学総論（実習を含む），理学療法特講Ⅱ、見学実習、評価実習、総合臨床実習

(6)研究テーマ

① 理学療法評価に関する研究
② 障害予防に関する研究
③ 運動療法に関する研究

(7)所属学会・団体

① 日本運動器理学療法学会
② 日本基礎理学療法学会
③ 日本膝関節学会

(8)研究業績等

① 論文　Effect of Experimental Pain Induced by Electrical Stimulation on Static and Dynamic Balance Test Results（共著）*Cureus* 17(3)　2025年3月

② 論文　Reliability of ultrasound to measure the distance between lumbar interspinous processes.　（共著）*Medical Engineering & Physics* 99　2022年1月

③ 論文　Possible role of MRI-detected osteophytes as a predictive biomarker for development of osteoarthritis of the knee: A study using data from the Osteoarthritis Initiative　（共著）*Osteoarthritis and Cartilage Open* 3(4)　2021年12月

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 荒井　沙織　（アライ　サオリ）

(2)職　　名 ： 講師

(3)学　　位 ： 博士（保健医療学）

(4)資　　格 ： 理学療法士
認定理学療法士（脳卒中）

(5)担 当 科 目 ： 神経系障害理学療法学、神経系障害理学療法学実習、日常生活活動学、日常生活活動学実習、理学療法特講Ⅰ、理学療法特講Ⅱ、内部障害理学療法学実習、総合実習、見学実習、評価実習

(6)研究テーマ

① 脳卒中片麻痺・高次脳機能障害に関する研究
② 動作手順の学習・記憶に関する研究
③ 応用行動分析学に関する研究

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 理学療法科学学会
③ 行動リハビリテーション研究会
④ 一般社団法人日本高次脳機能障害学会
⑤ 日本物理療法学会

(8)研究業績等

① 論文 「一定時間で徐々に情報を減らしていく記憶方法の検討」（筆頭共著）『理学療法科学』37巻5号　2022年9月
② 論文 「Effects of different visual presentation methods on movement procedure learning」（筆頭共著） Journal of Physical Therapy Science， Vol.34 No.12　2022年12月
③ 著書 「改訂第2版 PTスタートガイド 基礎理学療法概論」(分担) メジカルビュー社2023年

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 澤 広太 （サワ コウタ ）

(2)職　　名 ： 講師

(3)学　　位 ： 博士(理学療法学)

(4)資　　格 ： 理学療法士
専門理学療法士(神経)
認定理学療法士(脳卒中)
認定理学療法士(補装具)

(5)担 当 科 目 ： 義肢装具学実習(主担当)
義肢装具学(分担)
神経系理学療法学実習(分担)
理学療法特講Ⅰ(分担)
理学療法特講Ⅱ(分担)
物理療法学総論(分担)
理学療法学概論(分担)
人間関係実践演習Ⅲ(分担)
見学実習(分担)
評価実習(分担)
総合臨床実習(分担)

(6)研究テーマ

① 脳卒中
② バランス(姿勢制御)
③ 垂直認知・高次脳機能
④ ニューロリハビリテーション

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 日本神経理学療法学会
③ 高次脳機能学会
④ 日本支援工学理学療法学会

(8)研究業績等

① Sawa, K., Amimoto, K., Ishigami, K., Miyamoto, T., Setoyama, C., Suzuki, R., Kuwabara, N., Tamura, M., Miyagami, M., & Fukata, K.: Immediate effects of lateral truncal tilt balance training with a wedge on subjective postural vertical and sitting balance in subacute phase patients after stroke. International Journal of Therapy and Rehabilitation, 31(3), 2024, https://doi.org/10.12968/ijtr.2021.0147

② Kota Sawa, Keisuke Ishigami, Takuya Miyamoto, Miko Tamura.: Effects of sitting balance training with a wedge on sitting pressure and verticality in young adults: A randomized crossover trial. Medicine (Baltimore), 2023, Aug 4;102(31):e34625.

③ Sawa K, Amimoto K, Ishigami K, Miyamoto T, Chika Ishii, Rikuya Suzuki, Miko Tamura, Akira Morizane, Chikashi Komatsu, Mitsusuke Miyagami: Recovery process of vertical perception and activities of daily living in stroke patients: A retrospective cohort study. Brain and Behavior, 2023, 13(5), DOI: 10.1002/brb3.3001

④ Sawa K, Amimoto K, Ishigami K, Miyamoto T, Setoyama C, Suzuki R, Kuwabara N, Tamura M, Miyagami M.: Efficacy of Lateral Tilt Training on Postural Vertical and Activities of Daily Living after Stroke: A Randomized Crossover Trial. NeuroRehabilitation, 2022;51(1):33-40. doi: 10.3233/NRE-210255.

⑤ Sawa K, Amimoto K, Meidian AC, Ishigami K, Miyamoto T, Setoyama C, Suzuki R, Tamura M, Miyagami M.: Efficacy of Sitting Balance Training with Delayed Visual Feedback among Stroke Patients: A Randomized Crossover Clinical Trial. Journal of Physical Therapy Science, 2022, 34(8):540-546. doi: 10.1589/jpts.34.540.

⑥ Kota Sawa, Kazu Amimoto, Takuya Miyamoto, Miko Tamura.: Influence of Subjective Postural Vertical with Closed and Open Eyes in Patients with Hemiplegic and Pusher Behavior with Unilateral Spatial Neglect After Stroke: A Cross-Sectional Study. Brain sciences, 2024, 14, 1108. https://doi.org/10.3390/brainsci14111108

⑦ Kota Sawa, Miko Tamura, Saori Arai.: Influences of Gait Training with Knee–Ankle–Foot Orthosis on Gait Ability and Independence in Severe Hemiplegia and Pusher Behavior with Unilateral Spatial Neglect Following Stroke: A Retrospective Historical Controlled Study. 2025, 15;e70535, https://doi.org/10.1002/brb3.70535

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ： 今村 創　（イマムラ ソウ）

(2)職　　名 ： 助教

(3)学　　位 ： 博士(医学)

(4)資　　格 ： 理学療法士 / 呼吸認定理学療法士 / 3学会合同呼吸療法認定士 / 呼吸ケア指導士

(5)担当科目 ： 内部障害理学療法学 / 内部障害理学療法学実習（喀痰・吸引含む）/ 整形外科系理学療法学実習 / 運動学実習 / 理学療法学概論 / 人間関係実践演習Ⅰ（初年次教育）/ 理学療法特講Ⅱ / 見学実習 / 評価実習 / 総合臨床実習

(6)研究テーマ

① 呼吸リハビリテーションに関する研究
② 呼吸困難に関する研究
③ アプリケーションを用いた運動療法に関する研究

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会
② 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
③ 日本リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション学会

(8)研究業績等

① 【論文】Impaired Dynamic Response of Oxygen Saturation During the 6-min Walk Test Is Associated With Mortality in Chronic Fibrosing Interstitial Pneumonia(共著).
Respir Care. 68(3): 356-365, 2023年5月.
② 【論文】Long-term efficacy of pulmonary rehabilitation with home-based or low frequent maintenance programs in patients with chronic obstructive pulmonary disease: a meta-analysis (共著).
Ann Palliat Med. 9(5): 2606-2615, 2020年9月.
③ 【論文】運動時低酸素血症のメカニズム(単著)
Respica 21(3): 88-83, 2023年3月

2025年度用　教員の情報公表内容

(1)氏　　名 ：　酒井　実希　（サカイ ミキ ）

(2)職　　名 ：　助教

(3)学　　位 ：　修士（保健医療学）

(4)資　　格 ：　理学療法士

(5)担 当 科 目 ：　理学療法学概論、理学療法特講Ⅰ、理学療法特講Ⅱ、発達障害理学療法学総論、人間関係実践演習Ⅰ（初年次教育）、運動学実習、機能能力診断学実習、総合臨床実習、見学実習、評価実習

(6)研究テーマ

① 発達障害
② 応用行動分析学
③ 国際協力

(7)所属学会・団体

① 日本理学療法士協会

(8)研究業績等

① 論文「自閉スペクトラム症児に対する片足立ち練習の試み」（共著） 日本行動分析学会年次大会発表論文集 40巻 2022年9月

② 論文「発達障害児に対する「相手に両手で下からボールを投げて渡す」運動獲得のための介入効果についての検討」（共著） 行動リハビリテーション vol.12 2024年3月